

品谷山(880m)

2019.12.9 晴れ

今日のハイキングは京都駅より車で約1時間半。佐々里峠から品谷山～廃村八丁～ダンノ峠～佐々里峠へ戻る周回コース。

佐々里峠への道路は12月15日より3月中頃まで冬期閉鎖される。このあたりの気温は氷点下。スリップに気をつけながらの運転で 8:30 に登山口着。

スタート地点は 720m。落ち葉の上には薄らと雪が残っており 滑らないよう尾根を進む。巨大杉、立派なブナが所々に現れ 心が和む。

ダンノ峠と品谷山への分岐地点では丹波方面の見事な雲海の広がりが見渡せた。前日の冷え込みで品谷山山頂に着くまで雄大な雲海が残っていた。2日前ポンポン山 山頂から愛宕山の山並みがよく見えたが 今日逆方向からの山容。その奥にはポンポン山も。

品谷峠までは 冬木立の間に見える眺望を楽しみながら進む。この峠から廃村八丁への下りは 暗くて苔むした滑りやすい石ころだらけの谷筋になる。緊張しながら30分ほど進むと 明るい開けた樹林帯になり八丁の広場に着。日当たりの良い四角錐のような小屋の前の広場で昼食タイム。登山者は 静寂の中にいる私達だけ。気持ちがいい。

集落跡に残る 朽ちていく川沿いの石積を越え 刑部谷へ入る。昨年の台風の影響で登山道は荒れている。沢が分かれている地点で 確認を怠り 道間違いで往復20分弱のロス。滑りやすい沢を 小さいとはいえ 何回、更に余分に渡渉しただろうか？

やっと刑部谷滝が倒木の向こうに現れ 沢筋歩きは もう少しとなる。 沢から離れ急坂を歩き 一息つく。

ここからは歩き易く やがて同志社大山小屋前の分岐よりダンノ峠に向かう。

やっと明るい登山道！ 落葉してしまった木々の合間の青空は雲一つなく広い。緩やかに下ってダンノ峠に着。

このあたりの山域に詳しいとのことで 疲れ気味の二人は菅原バス停へ。残りは予定通りのコースをとった。山地図の所要タイムは50分と80分。バス停での二人の待ち時間が長くならないようロングタイム組はピッチをあげ 待たすことなく合流。

楽しい冬山ハイキングが出来ました。

メンバー 5名

コース 佐々里峠 8:40 品谷山 9:51 品谷峠 10:18 廃村八丁 11:14

昼食 11:14~11:45 ダンノ峠 13:29 佐々里峠 14:22

菅原バス停合流 14:45

距離

約 9.5km

(記) F・Kiyō



巨木杉



雲海



形部谷滝

